

品川彌二郎 しんがは 舊幕藩士、政治家。天保十四年閏九月二十九日長門國生れ、明治二十二年一月二十一日歿（八四二一九〇）。諱百枝、字思文、通稱蒼吉、彌吉。變名佐木清熊、橋本八郎。號五明州、曾獲堂主人、今佛菴主、扇洲、春狂、花月樓、苞子、若談樓、露山莊主人、やじ、トキヨシ等。安政四年松下村塾に入る、吉田松陰の師事、ゆち尊攘運動に加はる。明治元年救武隊參謀として興初、蝦夷を鎮戦。二年歐洲遊歴。九年歸國後内務少輔、農商務入輔等を経く、十九年ドイツ駐劄特命全權公使。歸朝後宮中顧問官、樞密顧問官、内相歴任。二十年五年の由郷從道等と國民協會を興し副會頭就任。子爵。

編著、吉田寅次郎遺著『嘉永癸丑吉田松陰遊歴日記』（校正、明治十八年七月吉田厚二刊）、『五十名家語録』（合著、平田骨仙撰、明治二十一年十月十二日平田勝馬刊、鐵華書院）等。

文獻『曾獲堂誌』（曾獲堂保存委員編、昭和二年十一月一日京都・寸紅堂）、『曾獲堂遺著集』（田中常大郎編、昭和二年十一月十一日京都・寸紅堂）、與谷松治著『品川彌二郎傳』（昭和十五年二月一日高陽書院）、上京秀信著『種時々人―品川彌二郎の生涯』（昭和十八年七月二十一日日本文林社）等。